

SDGsと企業

SDGsの5分野、17のゴール

People (人間) : 世界の貧困をなくす



Prosperity (繁栄) : 「つづく経済」をつくる



Planet (地球) : 環境を守り育てる



Peace (平和) : SDGsを實現する仕組み



Partnership (協働) : SDGsを實現する資金と協力関係



SDGsとは「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称、世界で最も差し迫った環境・社会・経済問題に関する国際合意である。

国連加盟 193 カ国が 2016 年から 30 年までの 15 年間で達成することを掲げた 5 分野、17 のゴールと、それらを達成するための具体的な 169 のターゲットで構成されている。

SDGs は「誰も置き去りにしない」を基本理念に、「貧困・格差の解消」と「持続可能な世界の実現」を目指す。目標達成には、国や国際機関ばかりでなく、NGO・NPO、そして企業の主体的な参加が求められる。

日本企業の間でも、事業と社会課題解決の両立に向けた挑戦が始まっている。

また、こうした中、企業への資金の出し手である投資家にも変化が。SDGs に積極的に取り組む企業をより評価するようになってきた。環境 (Environment)、社会 (Society)、ガバナンス (Governance) に配慮した経営を重視する「ESG 投資」への流れが加速している。

